

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	「ふるさと納税制度」促進事業				開始年度	平成20年度	
基本目標	健全な財政運営				終了年度		
担当課(局)	政策推進課	担当係	財政経営係	記入者	内田 美香	評価者	森 弘道
20年度決算	千円	21年度予算	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助	<input checked="" type="checkbox"/> 単独	
20年度人件費	359 千円	21年度人件費	364 千円	事業従事者数	0.05 人	0.05 人	

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	主とする寄付金の確保にとどまらず、寄付者との関係性を継続的なものとするような施策を展開していく。
事業の内容	町外者が対象であるため、高鍋町の状況等を分かりやすく伝える広報を行う。また、寄付者との関係を継続させる制度として「ふるさとたかなベサポーター」を創設し、季刊情報を発信する。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 寄付件数	広報を行い、寄付件数を増やす
	2 寄付金額	共感を得るような使途を提示し、寄付金額を増やす
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 広報活動	ホームページを季節毎に更新し、無料掲載のHPや情報誌に掲載を依頼
	2 季刊情報発信	「ふるさとたかなベサポーター」を創設し、寄付者への季刊情報をメールで発信
	3	

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度	
成果指標	寄付件数	目標値		10	15	
		実績値	件	10		
		達成率	%	#DIV/0!	100.0%	
	寄付金額	目標値			500,000	1,000,000
		実績値	円		1,200,000	
		達成率	%	#DIV/0!	240.0%	
活動指標	広報活動	目標値		5	5	
		実績値	回	5		
		達成率	%	#DIV/0!	100.0%	
	季刊情報発信	目標値			2	4
		実績値	回		2	
		達成率	%	#DIV/0!	100.0%	
0	目標値					
	実績値					
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!		

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	制度の趣旨からすると、町が行うべき事業である。 始まったばかりの制度であるので、現段階で廃止すると寄付者の思いを反映できない。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	国としては「ふるさと納税」に対し今後縮小していく可能性があるため、町独自の施策を拡大していく必要がある。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	季刊情報への感想、またまちづくりに対する提言も寄せられ、反応はある。
協働性	◎町民との協働の可能性があるか(ボランティア・NPO等)	寄付行為については町民を対象としていないが、まちづくりの提言を受けるため、その活用には協働の可能性がある。 また、町民へ制度を広報し熟知してもらえば、町外者へのPRを担ってもらえることも考えられる。

事務事業名	「ふるさと納税制度」促進事業	担当課(局)	政策推進課
-------	----------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	<p>◎担当者の方針に対する評価者としての所見</p> <p>◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等</p>	<p>昨年度、新たな財源確保の方策の一つとして導入し、合わせてまちづくりの助言をいただく「ふるさとたかなべサポーター」も創設した。広報や寄付者への季刊情報のメール発信などの努力の甲斐あって目標を上回る寄付金をいただくことができた。その寄付金を財源に本年度は町内4校の机・椅子の購入事業が実施可能となった。高鍋町の活性化と財源確保につながるよう今後もこの制度の拡充を図ってほしい。</p>	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充			○	
				現状維持				
				縮小				
				廃止				
		廃止	縮小	現状維持	拡充			
コスト								

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎永久町民も対象として、たよりを配信することを検討してはどうか。
	コスト	現状維持	